

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公開番号】特開2015-28592(P2015-28592A)

【公開日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-009

【出願番号】特願2014-36469(P2014-36469)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 15/36 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 6 5 H 37/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 21/00 3 7 2

G 0 3 G 15/20 5 5 5

G 0 3 G 21/00 3 8 2

G 0 3 G 15/00 5 3 4

B 6 5 H 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月29日 (2016.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートの綴じ代部に接着用トナー像を形成し、前記シートの画像部にトナー画像を形成するトナー像形成手段と、

前記接着用トナー像とトナー画像とが形成された複数のシートからなるシート束の各シートの接着用トナー像を加圧および加熱してシート束を綴じる綴じ手段とを備えた画像形成システムにおいて、

前記トナー像形成手段による一回のトナー像形成動作で、前記接着用トナー像の単位面積当たりトナー量を、トナー画像の単位面積当たりのトナー量よりも多くしたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を、ライントナー像としたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を、複数のライントナー像としたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の画像形成システムにおいて、
前記複数のライントナー像によってバーコードを構成したことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 5】

請求項 2 乃至 4 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記ライントナー像の幅を、 $42\text{ }\mu\text{m}$ 以上、 1 mm 以下としたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記綴じ手段で綴じの際に相対するシートの綴じ代部にそれぞれ接着用トナー像を形成したことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 7】

請求項 2 を引用する態様の請求項 6 に記載の画像形成システムにおいて、
前記ライントナー像よりも広幅の帯状トナー像を、前記ライントナー像と重なるように、
前記各シートの綴じ代部に形成したことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 8】

請求項 2 乃至 5、7 および請求項 2 を引用する態様の請求項 6 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記ライントナー像は、綴じ処理が施されたシート束のシートめくり方向に対して直交する方向に延びていることを特徴とする画像形成システム。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー画像を形成するときの前記トナー像形成手段のトナー像形成条件と、前記接着用トナー像を形成するときの前記トナー像形成手段のトナー像形成条件とを互いに異ならせたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー像形成手段は、潜像担持体と、前記潜像担持体を所定の帯電電位に帯電させる帯電手段と、帯電した潜像担持体表面を露光することにより潜像を形成する潜像形成手段と、少なくともトナーを含有する現像剤を担持する現像剤担持体に現像バイアスを印加しながら該現像剤担持体上のトナーを該潜像担持体上の潜像に転移させて前記潜像を現像する現像手段とを備え、
前記接着用トナー像を形成するときの前記潜像形成手段で前記潜像担持体表面を露光するときの露光エネルギーを、前記トナー画像を形成するときの露光エネルギーよりも強くしたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を形成するときの帯電手段で前記潜像担持体を帯電させたときの帯電電位の絶対値を、前記トナー画像を形成するときの帯電電位の絶対値よりも大きくしたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 12】

請求項 9 乃至 11 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー像形成手段は、潜像担持体と、前記潜像担持体を所定の帯電電位に帯電させる帯電手段と、帯電した潜像担持体表面を露光することにより潜像を形成する潜像形成手段と、少なくともトナーを含有する現像剤を担持する現像剤担持体に現像バイアスを印加しながら該現像剤担持体上のトナーを該潜像担持体上の潜像に転移させて前記潜像を現像する現像手段とを備え、
前記接着用トナー像を形成するときの現像バイアスの絶対値を、前記トナー画像を形成するときの現像バイアスの絶対値よりも大きくしたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 13】

請求項 10 乃至 12 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー画像を形成するときに、前記トナー像形成手段を制御する画像制御部と、前記接着用トナー像を形成するときに、前記トナー像形成手段を制御する綴じ代画像制御部とを備えることを特徴とする画像形成システム。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー像形成手段を複数備え、
各トナー像形成手段を用いてそれぞれ形成した複数の接着用トナー像を、シートに重ね合わせたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 15】

シートの綴じ代部に接着用トナー像を形成し、前記シートの画像部にトナー画像を形成するトナー像形成手段と、
前記接着用トナー像とトナー画像とが形成された複数のシートからなるシート束の各シートの接着用トナー像を加圧および加熱してシート束を綴じる綴じ手段とを備えた画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を、ライントナー像としたことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 16】

請求項 2 乃至 15 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を、互いに方向が異なる複数のライントナー像で構成したことを特徴とする画像形成システム。

【請求項 17】

請求項 2 乃至 16 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記綴じ手段で綴じる際に相対するシートの綴じ代部にそれぞれに互いに方向の異なるライントナー像を形成することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 18】

請求項 16 または 17 に記載の画像形成システムにおいて、
前記トナー像形成手段を複数備え、
複数のトナー像形成手段を用いて、互いに方向が異なる複数のライントナー像を重ね合わせて接着用トナー像を形成することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 19】

請求項 16 乃至 18 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像は、方向が互いに異なる複数のライントナー像が交差するように形成された部分と、その部分を取り囲むように形成されたライントナー像とで構成されていることを特徴とする画像形成システム。

【請求項 20】

請求項 16 乃至 19 いずれかに記載の画像形成システムにおいて、
前記接着用トナー像を、シートの一辺と平行な複数のライントナー像からなる部分と、その部分の両端に形成される互いに異なる方向の複数のライントナー像が重ね合わさった部分とで構成したことを特徴とする画像形成システム。